

# 登校指導 ハンドブック



令和4年5月

吉川市 危機管理課

## ～はじめに～

日頃から、児童等の安全な通行のため、通学路での登校指導にご協力をいただき、誠にありがとうございます。横断時の指導にご利用いただいている「横断旗」の使い方をハンドブックとしてまとめました。児童と指導する皆様の安全を守るために、ご活用ください。

## ～児童の交通事故の特徴～

小学生になると、登下校の際に友達とふざけたり、会話に夢中になるなど、車両が来ていることに気が付かなくなり、歩行中の「飛び出し事故」「横断中の事故」が急増します。

また、遊びに出る場合は、必ず保護者に行先を告げ、あまり遠くへ行ったり、暗くなるまで遊んだりしないようにご指導をお願いします。



## ～児童の特性～

児童の発達段階によって、危険予測の能力や危険回避能力には差があることを理解してあげることが大切です。児童は大人よりも視野が狭く、目線の高さも低いため、大人が見えている危険が児童には見えていないこともあります。

特に交通量が多く見通しの悪い道路や、道幅が狭く信号が無い道路は、保護者の方々の見守りをお願いします。

## ～登校指導時の心構え～

- 指導者の安全が第一

児童の安全のためだとしても、身体を盾にして車を停止させるのは危険です。指導者自身の安全を第一に、交通事故に遭わないように注意してください。

- 車両ではなく児童を止める

横断旗で走行中の車やバイクを停止させるのは危険です。車両が走行している間は児童が飛び出しをしないように、横断旗でブロックし、車両が通り過ぎてから横断させましょう。

- 曖昧な動きはしない

児童を慌てて横断させる、車両を停止させるのに躊躇するのはとても危険です。余裕を持った行動をしましょう。

## ～安全な服装～

- 児童のとっさの動きに対応できるよう、動きやすい服装や、運動靴などの動きやすい靴を履きましょう。脱げやすいサンダルや、かかとの高い靴などは、足元が不安定で危険です。



- 指導時は両手を使うことが多いため、雨の日はレインコートを着用し、傘の使用は控えましょう。傘を使用する場合は、周りが良く見える透明の傘や、ドライバーに認知されやすい派手な色の傘にしましょう。



## ～登校指導の基本～

### ○指導者の立つ位置

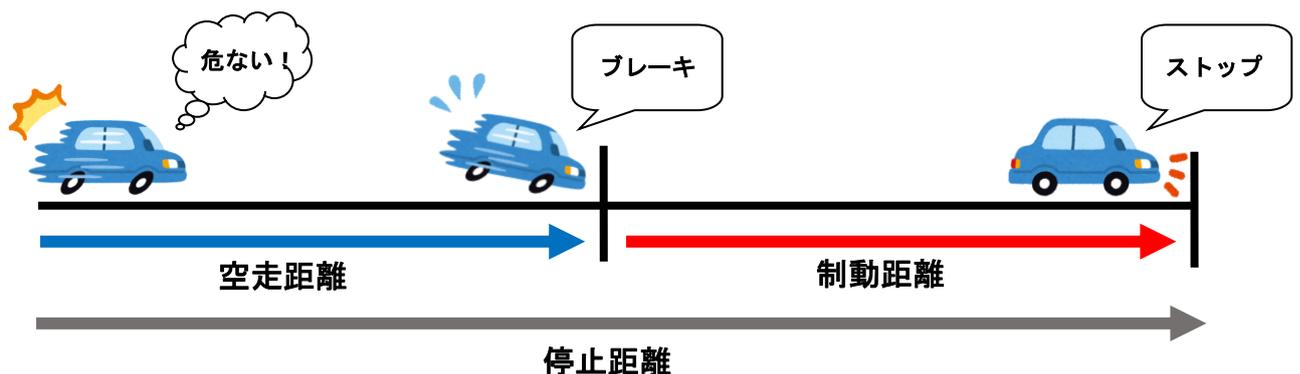
- 必ず歩道に立ちましょう。車道に出るのは危険です。
- 歩行者や自転車の通行の妨げになる場所や、看板や電柱の陰になる場所を避けて、身体は車道側に向け、車からよく見える位置に立ちます。
- 交差点では大型車が曲がる際に巻込まれる恐れがあるため、曲がり角から2m位離れた位置で立つようにしましょう。

### ○指導の方法

- 横断旗を使用し、原則として2名1組によって誘導します。
- 信号のない道路で児童を横断させるときは、車両の通行のないとき（車の切れ目）を選んで横断させます。
- 車両を止めるときは横断旗を使用し、ドライバーへ停車合図をします。合図のタイミングは、道路の制限速度や道路状況によって変わります。

#### ※停車合図の目安

下の図のとおり、走っている車はドライバーが危険を感じてブレーキをかけても、すぐに停車できません。そのため、横断旗で停車合図をするときは、停止距離の約3倍を目安に、運転手に合図をしましょう。



## 登校指導の流れ

1 登校指導者は、正しく位置したのち、左手に横断旗を持って道路と並行に、水平にあげて、横断しようとしている児童の飛び出しを防止します。児童は、2歩ほど下がった位置で待たせましょう。



2 横断旗を右手に持ちかえ、停止距離の約3倍を目安とし、車の切れ目を基準として、大きく上下に横断旗を数回振ります。横断旗を上下に振ることによって、運転者の注意を促します。その間も左手で、児童の飛び出しを防止します。



3 車が完全に停車し、安全の確認が出来たら、反対側の登校指導者とタイミングを合わせて横断させます。右手で横断旗を出したまま、左手で児童に横断を促します。登校指導者は児童横断中、停車車両の後方や側方から走ってくる車、オートバイや自転車に十分な監視を行うことが必要です。車が止まったから安全だと気を緩めず、左右を見て安全を確認してください。



4 児童が横断し終わったら車に会釈をし、右手の横断旗を左手に持ち替えて、1の姿勢に戻り、児童の飛び出しを防止します。



## ～注意すること～

- 車が並んでしまったり、児童が溜まっても慌てないでください。
- 小さいお子様を連れて来ることはやめましょう。そちらに気を取られていると登校指導に集中できず危険です。
- 合図は、大きく、はっきり、正確に行いましょう。
- 大型車は無理に止めないでください。大型車の後続車が前方を確認できずに衝突したり、横断中の児童に気づかず大型車を追い越して事故につながる可能性があります。
- 自動車運転者の無謀運転など危険な行為を見かけた場合は、日時、場所、その時の状況、自動車のナンバーなど警察署へ通報してください。

MEMO



